

さくら市 議会だより

令和元年11月1日

No. **59**
2019年

ちよど
いい!
さくら市



SAKURA
CITY

《市民すべてが、暮らしやすいと実感できる魅力あふれる「さくら市」を目指して》

氏家ゆうゆうパーク

目次

- ◆ 第1回臨時会・第2回定例会のあらまし… 2
- ◆ 決算審査特別委員会 …………… 3
- ◆ 各常任委員会（総務・文教厚生・建設経済）4～5
- ◆ 一般質問ここが聞きたい ……… 6～16
- ◆ 議会レポート・議会の動き …………… 17
- ◆ 議会報告会2019（さくらテラス情報館）18～19
- ◆ 先進地に学ぶ（議会運営委員会）………… 20
- ◆ 先進地に学ぶ（議会広報委員会）………… 21
- ◆ どうなったんべ あの質問は …………… 22
- ◆ 議会だよりリニューアルの歩み………… 23
- ◆ 市民の声・次回の定例会の予定 …… 24



未来への投資

第1回臨時会・第2回定例会のあらまし

令和元年第2回定例会が9月3日から9月25日まで開催され、令和元年度一般会計補正予算等の議案21件、追加議案1件を、原案通り可決、認定し、3件の報告を受け、審議を行いました。一般質問では11名が登壇し市政について問いました。
また、第1回臨時会が7月11日に開催され、議案2件を承認・可決しました。

◆第1回臨時会



◎上松山小学校増設工事請負契約
2億3,760万円

◆第2回定例会に上程された主な条例

- さくら市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
来年度から実施される会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する規定を制定
- さくら市空家等対策の推進に関する条例
市民等の生命、身体又は財産に対する被害を防止するとともに、安心・安全な生活環境の保全を図り地域コミュニティの活性化、本市の魅力向上及び定住の促進に寄与するため必要な事項を制定

令和元年度 補正予算の概要

会計区分	補正額	予算総額	
一般会計	(第4号)	3億906万1千円	185億1,756万4千円
	(第5号)	6,347万9千円	185億8,104万3千円
介護保険特別会計(第2号)	3,537万8千円	32億1,666万1千円	

会計区分	補正前	補正後	
下水道事業会計(第1号)	未収金	1億5,644万1千円	1億3,480万8千円
	未払金	1億5,463万5千円	1億5,241万5千円



◎プレミアム付商品券事業
1億9,500万円



◎未移行幼稚園施設等利用事業
1,269万6千円

●決算審査特別委員会 開催期間：9月9日・10日・11日【議員全員】

決算審査特別委員会で示された主な意見

1.税金の徴収

国民健康保険から後期高齢者医療に切り替わる際の口座振替手続きの簡素化について、考慮を。

2.人事評価事業

部下が上司を評価する視点の検討を。

3.消防団運営事業

消防団員の確保、団員の加入環境の整備に向け、有効な対策を。



4.ふるさとづくり寄付事業

返礼品を再考するなど、制度活用の効果実績が十分に上げられるよう検討を。



5.犬及び猫の避妊・去勢手術費補助事業

適切な予算措置と柔軟な予算執行を。

6.さくら市社会福祉協議会補助事業

指定管理事業者である同会に対して人件費を補助する当該事業の公平性・妥当性の観点から、十分検証を。

7.財政負担を伴う大規模事業

中長期的な事業方針と適正な実施計画を。

8.*多面的機能支払交付金事業

利用者の利便性と交付金の有効活用のため、事務手続き上の配慮と工夫を。



9.駅広場改修事業

さくらスクエア、さくらテラス、駐輪場の適切な管理方法の検討を。



●会議結果・賛否の公表については市HPをご覧ください

「さくら市ホームページ→さくら市議会→定例会」



総務常任委員会

◎鈴木 恒充 ○若見 孝信
大河原 千晶・岡村 浩雅・永井 孝叔・渋井 康男

議案第1号 さくら市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

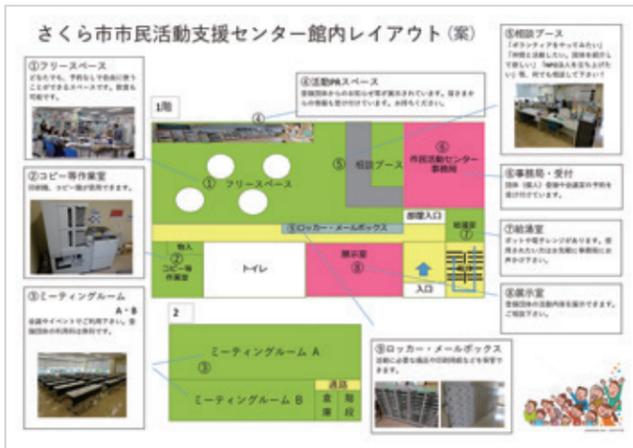
- Q 「職種の区分」中「特定の資格」とは何を想定しているのか、また市職員で該当する者はいるか。
- A 教育現場で勤務する臨床心理士の資格を想定している。また、現在正職員はいないが臨時職員は1名いる。
- Q パートタイムとフルタイムは自分の意思で決める事ができるか。
- A 募集する段階で決めて募集する。

議案第11号 令和元年度さくら市一般会計補正予算（第4号）【所管分】

- Q 防火水槽撤去工事について、なぜ撤去しなければならないのか。
- A 一般の方の土地に防火水槽を設置していたが、他の用途に使用したいとの申し出があり、近くに消火栓もあるため、今回撤去することになった。
- Q プレミアム付商品券の使用できる店舗はどのくらいあるか。
- A 氏家地区で74店舗、喜連川地区で62店舗の計136店舗である。

《現地調査》

- 氏家地区農産物直売所「菜っ葉館」
- 農産物加工センター アグリ館「あねさん工房」
- eプラザ「老番館」「参番館」
- さくらテラス、さくらスクエア



文教厚生常任委員会

◎福田 克之 ○高瀬 一徳
石原 孝明・石岡 祐二・角田 憲治・小堀 勇人

議案第11号 令和元年度さくら市一般会計補正予算（第4号）【所管分】

- Q 単位老人クラブ補助事業補助金の金額見直し検討状況は。
- A 来年度予算要求できるように検討中である。
- Q 単位老人クラブ補助事業補助金について、地域介護予防活動支援事業費補助金、サロン事業との違いと整合性は。
- A 単位老人クラブ補助事業補助金は、会員の生きがいをづくりの補助金。地域介護予防活動支援事業費補助金は、高齢者介護予防推進のレクリエーションなどを提供する補助金。サロン事業は社会福祉協議会で実施している居場所づくりの助成金である。それぞれ目的に応じてすみ分けをしている。
- Q 幼児教育・保育無償化の対象とならない施設の対応は。
- A 不公平にならないような手立てを講じる。

議案第12号 令和元年度さくら市介護保険特別会計補正予算（第2号）について

原案通り可決。

《現地調査》

- 小規模保育事業所「ゆうゆうランドさくら園」
- さくらスタジアム
- セブンハンドレッドクラブ



建設経済常任委員会

◎櫻井 秀美 ○笹沼 昭司
吉田 雄次・加藤 朋子・手塚 定・矢澤 功

議案第2号 さくら市空家等対策の推進に関する条例の制定について

- Q 特定空家の判定は、誰がどのように行うのか。
- A 第7条の規定により組織する「さくら市空家等対策審議会」において審議する。委員は7名以内とし有識者及び氏家、喜連川地区から各1名を考えている。
- Q 特定空家等のおそれがあると認められる場合、立入調査を行うことが出来るか、所有者と連絡が取れない場合はどうするのか。
- A 当該物件の固定資産税納税管理人と連絡を取り実施する。管理人にも連絡がつかない場合には、立入通知の公示をおこなったうえで実施する。

議案第11号 令和元年度さくら市一般会計補正予算（第4号）【所管分】

- Q 菜っ葉館の売上を伸ばすための改善策はあるのか。
- A 現在、地域おこし協力隊に参画してもらい、改善策を検討している。
- Q 露天風呂洗いの改修工事はいつごろか。
- A 冬季の工事を想定している。

《現地調査》

- 氏家地区農産物直売所「菜っ葉館」
- 市営露天風呂
- 道の駅きつれがわ





吉田 雄次 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Yuji Yoshida

空き店舗の再利用について

▶ 空き家等情報バンク制度の活用

Q 氏家地区の空き店舗の再利用について。

A 空き店舗が増えつつある状況にあり、中心市街地(琴平通り沿い、大通り沿い)は住宅併用であるため利活用は進んでいない。

空き家等情報バンク制度の活用について宅建協会や地元の不動産業者の協力を得て進めていく。

氏家駅前照明について

Q 駅前の照明について。

A 市民の乗り降りや本市を訪れる方々に良い所であると実感してもらえよう進めていきたい。駅前ターミナル機能を有するロータリーとして施工されたものであり照明については、機能照明と演出照明の2種類が設置されている。修繕に際しては多額の費用を要するため調査検討していく。



JR氏家駅東口 ロータリー

道の駅きつれがわについて

Q 道の駅従業員の離職者が多いのは。

A リニューアルオープン後2年間での離職者数並びに新規採用者数については、通常想定される入れ替えが発生していると認識している。

Q 納入業者に入ることに審査はあるのか。また、商品の品質管理体制はどうなっているか。

A 納入並びに出店業者との契約については、社内規定に基づいて処理をしている。

幼稚園・保育園の無償化について

Q 現状と方針について説明願いたい。

A 子育て支援新制度に基づいて実施され、幼児教育・保育の無償化は消費税増税分の一部を財源として子育て世帯の経済的負担感を和らげて少子化対策を図る。



岡村 浩雅 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Hiromasa Okamura

肝炎ウイルス対策について

▶ 対象の方に直接、検査ができる旨通知する

Q 平成30年度の40歳の受検率、41歳以上の受検率は。

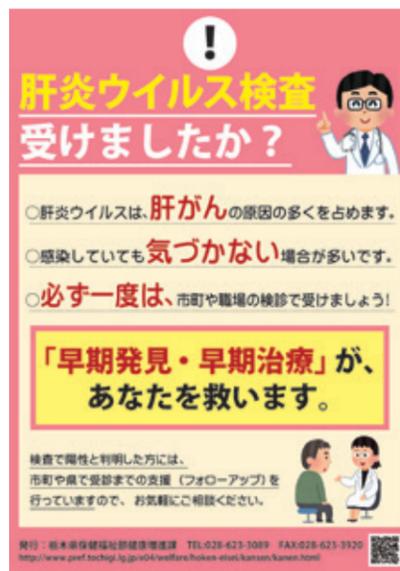
A 40歳の受検者数B型73名、C型74名、率にしてB型10.9%、C型11.1%、41歳以上B型249名、C型248名で1.0%である。

Q 陽性者に対するフォローアップは。

A 検査結果の通知と合わせて肝炎ウイルスの感染の危険性や重症化予防に関する周知を行うとともに専門医療機関での精密検査や、定期検査の受診勧奨、医療機関で行う初回精密検査に対する県の費用助成などを行っている。

Q 受検率アップへの取り組みについて。

A 毎年度の総合健診開始直前に検査対象の方へ直接、肝炎ウイルス検査ができる旨通知する。



災害対策について

Q 「防災士」活用の現状と今後の積極的な活用について

A 平成25年度から毎年開催をしている市の防災訓練において、避難所運営訓練を実施する際の地域リーダーとして中心的な役割を担ってもらっている。今年度については、資格取得者に対し、5回程度のフォローアップ研修を予定している。防災士が地元行政区の自主防災組織と連携し、さまざまな訓練や研修等を通じて得られた知識、経験を発揮して、地域防災力の向上に貢献できるよう継続的に取り組んでいく。

Q 災害用備蓄品に「乳児用液体ミルク」を加えてはどうか。

A 本市において現時点では、乳児用液体ミルクを提供してもらう防災協定を有効に活用することで対応する。



その他の質問

○放課後児童クラブ(学童保育)における児童支援員及び補助員の処遇改善について

一般質問ここが聞きたい

一般質問ここが聞きたい



大河原 千晶 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Chiaki Okawara

市民協働のまちづくりについて

▶ 市民を主人公とした活動を支えるセンターを開設

Q 「まちづくりNPO、市民ボランティア活動への支援充実」は、具体的にどう進めていくのか。
また市役所の若手職員による市民協働推進チームは、今後どのように市民協働を進めていくのか。

A これまで実施してきた「市民活動助成金」「さくら市ボランティアポイント制度」の事業の推進と同時に、活動支援とフォローアップ機関として市民活動支援センターを令和2年4月に開設予定。専属コーディネーターを配置し、市民活動団体からの各種相談やマッチング事業、センター主催の講習会などを行っていく。
市民活動推進チームは、実際にまちに出て、住民や協働の担い手と協働をして、住民と直接交わり生の声を聞く機会をつくることで、協働の事業の進め方を実践的に学んでいく。



eプラザ「番館」(市民活動支援センター予定地)



市民協働推進チームの様子

Q 「市民活動助成金」で交付金終了後事業終了してしまった事業は。

A 比較的イベント事業が終了傾向にある。

Q 助成金以外の支援が必要と考えるが。

A お金がなくて事業継続が難しいことが一つの課題。来年度開設予定の市民活動支援センターでは、民間の財政支援制度の紹介、事業で利益を生み出す方法、お金をかけない事業のやり方、※クラウドファンディングの利用の勉強会など、事業が継続できるような支援、考え方などを指導していく。

Q センターの役割が大きいが、運営や配属の職員は。

A センター長1名、コーディネーター2名を日替わり交代。コーディネーターは30年度に公募し、現在専門スキル取得のため養成講座や講習会で学んでもらっている。

Q 市民活動助成金の制度のあり方を見直しては。

A 今の時代に合ったものになるよう制度改正も検討していきたい。

※クラウドファンディング
インターネットを通して自分の活動や夢を発信することで、想いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募るしくみ。



若見 孝信 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Takanobu Wakami

ひきこもりの実態と支援について

▶ 栃木県内で1万7,000人

Q 本市のひきこもり数は。

A 調査は実施していない。
平成27年度から平成30年度までの4年間で実相談件数は4件。

Q ※「ポラリス★とちぎ」での相談ケース等の情報共有はされているか。

A 社会福祉協議会及び福祉課相談窓口では、「ポラリス★とちぎ」との連携を図り必要に応じて情報を共有している。

Q ひきこもりの支援は。

A 「ポラリス★とちぎ」と連携した支援体制と、本年度から社会福祉協議会に委託した生活困窮者自立相談支援事業の中で対応している。

Q ひきこもりサポーターの現状は。

A 本市では3名で定期的に研修を受け、必要な能力の確保に努めている。

Q ひきこもりの今後の対策は。

A 関係機関や民生委員、警察署、地域自治会の皆さんとの協働で、さらに把握に努めたい。



不登校の現状と支援について

Q 不登校に至る原因は。

A コミュニケーション不足や友人関係をうまく築けないなどさまざまであり、一人一人が非常に複雑である。

Q 義務教育以降の支援は。

A 寺子屋学びなおしを開催している。継続的に、また学びなおしの場として提供をしていくとともに、積極的に活動をしているということの周知を進めていく。

Q SSW(スクールソーシャルワーカー)・臨床心理士の支援は。

A 教師や保護者と支援策を話し合うケース会議の出席や家庭訪問・学校での面談、希望があれば付き添い通学や医療機関の紹介・同行も行っている。



「ポラリス★とちぎ」のホームページ

※ポラリス★とちぎ(栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター)教育、福祉、医療、雇用等の様々な分野の関係機関と連携して、ひきこもり、ニート、不登校など様々な悩みや困難を抱える子ども・若者の健全育成や若者等の自立をサポートしている。



永井 孝叔 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Takayoshi Nagai

地域防災力の強化について

▶ 県と連携し強化する

Q 消防団員の確保は。

A 「消防団応援の店」制度について市独自の制度設計検討を始めるなど、消防団員確保に積極的に取り組んでいく。

Q 自主防災組織の育成支援は。

A 1団体50万円の資機材購入補助に加え今年度から運営事業に対し上限3万円の補助を実施している。

Q 避難行動要支援者の計画策定は。

A 市の要支援者名簿3,200人。対象者に対する声かけ見守り活動の実施、さらに福祉、保健、医療等の関係機関と連携に取り組む。

Q 災害廃棄物処理計画の策定は。

A 策定済であるが、見直し中である。



健康増進対策について

Q 受動喫煙対策は。

A 健康増進法改正に伴い教育施設、児童福祉施設、庁舎などが原則敷地内禁煙。灰皿等の喫煙器具は撤去または、改正法の基準をクリアした屋外喫煙所を設置した。

Q 体育館トレーニングルーム運動機器の新規導入について。

A 市民からの要望も多いことから、今後については利用しやすい環境の整備に努めていきたい。

Q 健康マイレージ制度の取組みについて。

A 本市は、定期的に日本一周ウォーキング、貯金フィットネスなど参加ポイント制による取組みを行っている。併せて県事業の活用の検討を進める。



氏家体育館トレーニング室

その他の質問

- 部活動指導員の配置について
- 子ども政策について



笹沼 昭司 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Syoji Sasanuma

婚活事業と定住促進について

▶ 結婚支援は行政の使命の一つ

Q 現在の婚活イベントの開催状況、カップリング数、成婚件数は。

A 結婚支援事業の「咲くらコン」は平成27年度から8回開催し、累計で男性173名、女性172名、合計345名の参加があり、イベントでのカップリング数は93組、そのうち4組から「結婚した」との報告があった。

Q とちぎ結婚支援センターへの登録料や民間団体が婚活事業を実施する場合の補助は。

A 試行的に期限を設定して、センターへの登録料の助成を行う。また今年度から市民活動助成金の中に、「婚活応援！縁結びプロジェクト」を設けた。



咲くらコン

※マイキープラットフォーム
マイナンバーカードのICチップ(マイキー部分)を利用して図書館やスポーツ施設の利用者カードとして、また民間企業のクレジットカードのポイントやマイレージなどと連携し、商店街での買物やオンラインでの地域の産物購入などに活用できるようにする共通情報基盤。

マイキープラットフォームとめいぶつチョイスについて

Q 通販サイトめいぶつチョイスなどで商品が買える自治体発行ポイントに、他のカードのポイントやマイレージと交換が可能な※マイキープラットフォームの取組みは。

A 国は自治体ポイント制度の見直しを図っており、その後検討する。

ひきこもり対策(8050問題)について

Q ひきこもり世帯、人数などの調査をしているか。

A 栃木県及び県内自治体において調査は実施していないが、県の支援機関「ポラリス★とちぎ」における平成30年度の延べ相談件数は5,221件で、さくら市民からの延べ相談件数は54件、実相談件数で13件であり、過去4年間の平均は年14件。

道路に関する要望書について

Q 認定外道路など道幅が4メートル未満でも生活用道路として頻りに利用されている道路があるが、それらの道路改良の要望に積極的な対応を図れないか。

A 認定外道路の舗装に関する要望が多くなっており、検討を進めている。



矢澤 功 議員



Isao yazawa

住み良さ度アップと各施策について

▶ 各種住み良さアップに取り組む

Q 高得点、低得点の項目分析と今後の対応について。

A 22指標個別の点数は公表されておらずあくまで推測だが、安心度は子ども医療費助成について優位な点数がついたと思われる。快適度は新築住宅の着工数という指標がなくなったのが、順位を下げた要因の一つである。富裕度は、県内順位は変わらないが全国順位は上昇している。

今後の対応は、ランキングが上下したからという観点では特に考えていないが、今後ともやるべきことを着実に総合的に実行していく。



2016年 住み良さランキング1位



観光温泉バス

Q 温泉バスの日替わりコースでの運行について。

A 提案された日替わりコース運行、担当課の一元化等を含め、地域公共交通会議において「交通網形成計画」を策定中である。高齢者を始めとする市民に優しいシステム作りを進めていく。

Q 手話言語条例の制定について。

A 市内には聴覚障害者、言語障害者が148名いるが県内では日光市、鹿沼市、栃木市が制定済み。
制定に向けては施行している3市の経過状況と県の動向について調査の上、検討していく。

Q 公共施設のトイレの洋式化率アップを目指せ。

A さくら市の洋式化率は全体では62.23%、児童福祉施設99.15%、観光施設90.91%、学校施設が60.25%、行政機関60.98%、社会教育施設41.79%、体育施設37.86%、公衆トイレ49.14%とばらつきがある。「公衆トイレ改善会議」を発足して積極的に整備に取り組んでいく。



高瀬 一徳 議員



Kazunori Takase

JR氏家駅周辺の現状について

▶ まひすんぜん 麻痺寸前

Q 氏家駅周辺の現状をどの様に認識しているのか。

A 車両の渋滞は連日発生しており麻痺寸前と思われる。朝夕の通勤、通学の利用者は増加しているものと推測され、何らかの対策が必要である。

Q 駅東口の渋滞を緩和し安全な通行にする為の対策は。

A 対策が必要であるが、断片的な対策よりも大規模な整備を実行する必要があると思われる。

昭和36年に都市計画決定され未着手である都市計画道路を従来の計画通り施工することが現実味を帯びている状況であると感じている。



朝の通勤・通学時の様子

Q 氏家駅の※橋上化について具体的な方策や改善を進める考えは。

A 現在の東西線を橋上化に改良することは、国やJRに負担を求めることができないため、市単独の費用負担になる可能性が高く、財政的に厳しいと思われる。

Q 駅東西線の法定耐用年数は45年だが使用開始から25年を過ぎて残り20年の使用期間しか残されていないが。

A 地域住民、利用者の皆さんと話し合いを持ち、氏家駅・駅前ロータリー・接続する道路をどうするかなど、※グランドデザインのように長期に渡り検討する必要がある。



JR氏家駅東口 ロータリー

※橋上化
駅舎機能をホームの上階部分に集約すること。近隣では、片岡駅・宝積寺駅などがあげられる。

※グランドデザイン（全体構想）
壮大な図案や設計で、長期間にわたって遂行されること。

一般質問ここが聞きたい

一般質問ここが聞きたい



加藤 朋子 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Tomoko Kato

市役所の窓口対応について

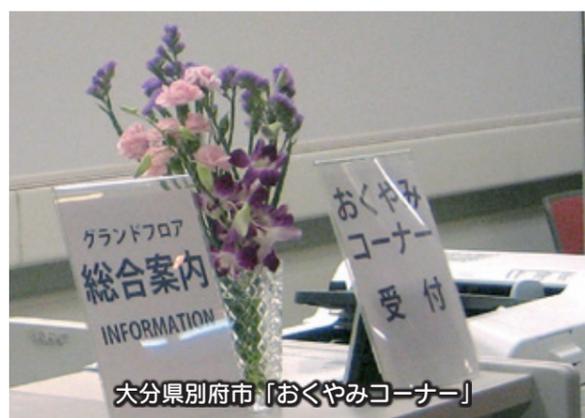
▶ 市民第一主義で取り組んでいる

Q 役場の窓口は住民とサービスを結ぶ接点であり、満足度向上のために、各自治体は様々な取り組みを行っている。福祉総合窓口、ワンストップサービス導入の意向は。

A 現段階においては、総合案内をさらに充実させ、来庁者にとってわかりやすい窓口、安心して相談できる窓口を目指していきたい。

Q 転出入、出産、死亡時等に特化した、専門窓口設置の可能性は。

A 本市の人口規模での専門窓口の設置は困難である。しかし、市では死亡時チェックリストを作って対応中である。先進手法等参考に、取り入れられるものは積極的に取り入れていきたい。



Q 窓口業務民間委託の可能性は。

A 委託できる業務は定型的・補助的業務に限られ、委託するメリットが無く、考えていない。

Q 障害者、高齢者、多言語対応は。

A 筆談、補助、103カ国語対応可能なタブレットの翻訳ソフト等を用いて対応している。

引きこもり対策について

Q 悲惨な関連事件が立て続けに発生し、改めて注目を浴びている「ひきこもり」。近年は当事者の年齢が高齢化し、問題が長期化、深刻化しているケースも多い。本市の対象者把握は。

A 特性からも把握は困難である。

Q 今後の展望は。

A 関係機関や民生委員、警察署、地域自治会等組織の協働及び、当事者の下に赴く※アウトリーチ型支援を検討している。

※アウトリーチ
福祉などの分野における地域社会への奉仕活動、公共機関の現場出張サービスなど。

Q ひきこもりサポーターは無償なのか。

A 現在の3名は業務の一貫として行っているが、民間の方には派遣毎に報償金を支払うので、予算措置をしていきたい。

ひきこもりサポーターの派遣
ひきこもり、ニート、不登校など、さまざまな悩みや困難を抱える方の相談を受け付けています。ご希望の場合は、引きこもりサポーターがご自宅へ伺い、支援します。※本人の同意が必要

「広報さくら平成30年8月1日号」より



櫻井 秀美 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Hidemi Sakurai

塩谷広域行政組合エコパークしおやについて

▶ 塩谷広域行政組合の詳細な事務内容の答弁はなじまないと考える

Q エコパークしおや長期包括運営業務委託の参加応募社数は。また業務契約期間は。

A 公募型プロポーザル方式で実施し応募は1社、業務契約期間は2018年9月27日から2020年3月31日までである。

Q さくら市から市長が代表で出ている。公開してもいい情報は回答できるのでは。

A 塩谷広域行政組合議会を通して情報公開していくべきと考える。

Q 包括運営委託の包括運営の意味は。

A 塩谷広域行政組合の事務内容なので回答は控える。

Q 環境省の手引きの順守、長期包括運営業務委託で電気主任技術者を組合が設置しているが包括運営にならない、長期包括契約で10年6か月の履行計画書を業者に



エコパークしおや

作成させるべき、※ピュアCM方式の導入等検討して頂きたい。

A 様々な指摘を今後に生かしたい。

上阿久津台地土地区画整理地内産業廃棄物出土について

Q 市が区画整理地内で産業廃棄物が出土したが、どのように対処するつもりか。

A 市が整備し仮換地した土地においての出土はあってはならない事柄。調査をしたうえで適切に対処したい。

Q 近隣の方や土地所有者に対しどう対応するか。

A 関係地権者の皆様に報告、相談のうえ適切に対処していく。

Q 市の発注あらゆる分野でマニュアル化が必要では。

A 土木工事のほか、建築工事、水道工事、下水道工事でも可能性があるため検討する。

Q 年度末にかけて工事の発注も集中する。早急な対応が必要では。

A 早急に対応する。

※ピュアCM
ごみ焼却の施設で言えば、化学工学、機械工学、電気工学、土木工学などの専門技術と、システム化する技術を有する人材を備え、設計から施工、計画から管理までを含めて発注者のアドバイザーとなること。



福田 克之 議員



QRコード (動画配信) YouTube

Katsuyuki Fukuda

市内公共施設のバリアフリー、案内板の多言語化、外国語の対応について

▶利用者目線に立って工夫する

Q 安全・安心、防災、おもてなしの観点から問う。

A 塩谷地区管内では唯一、庁舎の案内表示の多言語化を実施し、多くの公共施設でバリアフリー化に努めている。

今後、より利用者目線に立った表記を工夫し、トイレについても改修工事の実施や、オストメイト機能がついたものを整備する予定である。

また、市内の商業施設や医療機関などに関してもバリアフリー化を積極的に働きかけていく。



外国人用 対応タブレット

本物の出会い栃木観光キャンペーンについて

Q 東京五輪・パラリンピック、栃木国体に向けた今後の展開を問う。

A デスティネーションキャンペーン (DC) による観光入り込み数が3割増になった。本年の観光キャラバンは、東京都、仙台市などで行う予定である。

来年は、東京五輪のハンガリーチーム選手

のキャンプや、本市を会場にした※世界大会があるので、市がメインとなって県や関係機関と連携し進めていく。



フットゴルフ

※世界大会
2020年さくら市で行われるフットゴルフワールドカップ (フットゴルフ: サッカーボールを使ったゴルフ)

スーパークールビズ、スニーカービズについて

Q 健康増進、防災の観点から問う。

A 職員の健康保持、事務能率向上、地球温暖化対策に資するため、5月1日から10月31日までの期間スーパークールビズを行っている。

昨年、シティープロモーションの一環として市のロゴマークとキャッチコピーを組み合わせたポロシャツやフリースを作成したので、これを着用することにより市のPRだけでなく、クールビズ、ウォームビズにも取り組んでいく。

スニーカービズについては、市内にスニーカーを製造販売する国内優良企業と連携して健康増進や業務の快適性から普及を図りたい。

● 議会レポート

■ 県市議会議長会議

令和元年7月24日
県内全14市
・石岡 祐二 議長
・岡村 浩雅 副議長

■ 県北五市議長会議

令和元年8月21日
・石岡 祐二 議長
・岡村 浩雅 副議長

■ 各種委員会等

● 民生委員推薦会
7月31日
・加藤 朋子 議員
・手塚 定 議員

■ 視察等来訪

● 8月29日
富山県南砺市議会・人口対策特別委員会委員10名が、「人口増対策の取り組み」について視察に訪れました。



富山県南砺市議会

■ 監 査

● 例月現金出納検査
8月26日
9月26日
・小堀 勇人 議員

● 関東都市監査委員会総会
8月1日
・小堀 勇人 議員

● 決算審査
7月23・25・26・29・31日、8月2日
・小堀 勇人 議員

● 全国都市監査委員会総会・研修会
8月29・30日
・小堀 勇人 議員

● 議会の動き

7月

- 1日 議会運営委員会視察研修 (～3日)
- 5日 塩谷広域行政組合議会臨時会
- 8日 議会広報委員会
議会報告会検討委員会
氏家商工まつり実行委員会
- 11日 議会運営委員会
議員全員協議会
臨時会
議会報告会運営会議
- 16日 議会広報委員会
- 17日 いきいきクラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会
- 18日 こどもの広場ばいん開所式
- 19日 こどもの広場ばいん内覧会
議会広報委員会
- 20日 氏家商工まつり開会式
- 22日 広島平和記念式典中学生派遣事業結団式
- 23日 決算審査 (23日・25日・26日・29日・31日)
- 24日 栃木県市議会議長会議
- 26日 天機奉伺
いちご一会とちぎ国体さくら市実行委員会
- 27日 喜連川神社例大祭式典・夏祭百物揃行列
- 30日 初当選市町村議会議員研修会
- 31日 民生委員推薦会

8月

- 1日 議会活性化特別委員会
関東都市監査委員会総会
- 2日 決算審査
国道293号整備促進期成同盟会通常総会
- 3日 古河花火大会
古河花火大会姉妹都市交流首長議長懇談会
うじいえ納涼彩2019
にこんぎつれ荘夕涼み会
- 6日 栃木県議会県土整備委員会 現地調査
- 18日 学童ナイター野球大会
- 19日 議会活性化特別委員会

- 21日 県北五市議長会議
- 22日 天機奉伺
- 23日 議会運営委員会 (令和元年第2回定例会)
議員全員協議会 (令和元年第2回定例会)
議会報告会2019
- 24日 きつれがわサマーフェスティバル&花火大会2019
きつれがわ花火大会姉妹都市歓迎夕食会
- 25日 寛方・タゴール会 日印文化交流会
- 26日 例月現金出納検査
- 29日 富山県南砺市議会視察来訪
全国都市監査委員会総会・研修会 (～30日)

9月

- 3日 令和元年第2回定例会開会
議会広報委員会
- 4日 令和元年第2回定例会一般質問
- 5日 令和元年第2回定例会一般質問
- 6日 令和元年第2回定例会一般質問
- 7日 国際交流フェスティバル
- 9日 令和元年第2回定例会決算審査特別委員会(総務)
- 10日 令和元年第2回定例会決算審査特別委員会(文教厚生)
- 11日 令和元年第2回定例会決算審査特別委員会(建設経済)
議会報告会検討委員会
- 13日 令和元年第2回定例会総務常任委員会
- 14日 氏家・熱田・上松山小学校運動会
- 17日 令和元年第2回定例会文教厚生常任委員会
- 18日 令和元年第2回定例会建設経済常任委員会
氏家商工まつり慰労会
- 24日 議長杯ソフトボール大会
- 25日 令和元年第2回定例会閉会
議長杯ゲートボール大会
議会広報委員会
議会報告会運営会議
- 26日 例月現金出納検査
- 28日 押上・南・喜連川小学校運動会
- 29日 塩谷広域行政組合エコパークしおや竣工式
- 30日 「いきいき茨城ゆめ国体2019」視察

令和元年8月23日(金) さくらテラス情報館にて「議会報告会2019」を開催しました

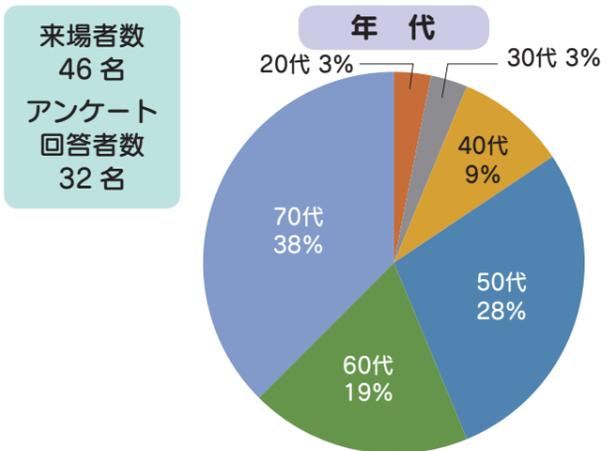
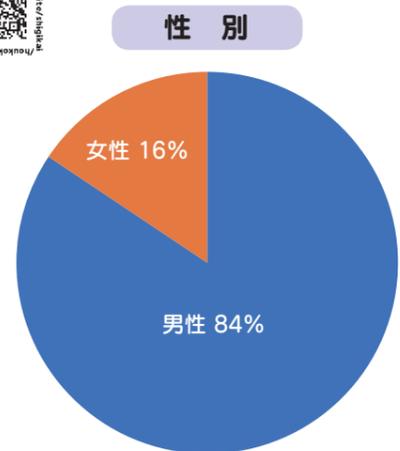
1 前半は、令和元年度予算について、各常任委員会、議会運営委員会、議会広報委員会の報告を行いました。後半は、「若者の政治参加」をテーマとし、宇都宮大学 石井大朗先生をコーディネイターとして迎えパネルディスカッションを行いました。詳しくはホームページをご覧ください！

詳細はこちら↓



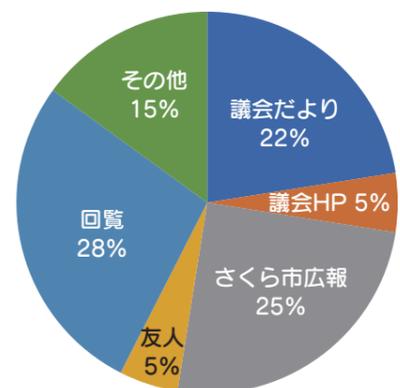
パネリスト/宇都宮大学学生、さくら清修高校、さくら総合専門学校
さくらリーダーズクラブ、保護者世代代表

アンケートの結果

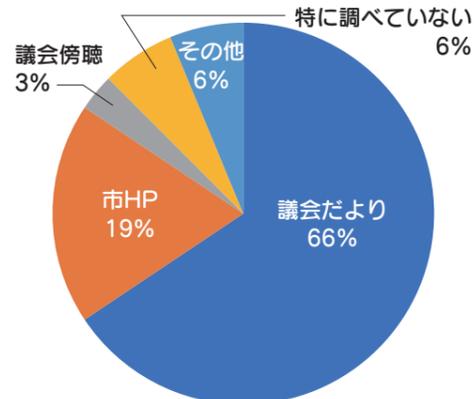


来場者数
46名
アンケート
回答者数
32名

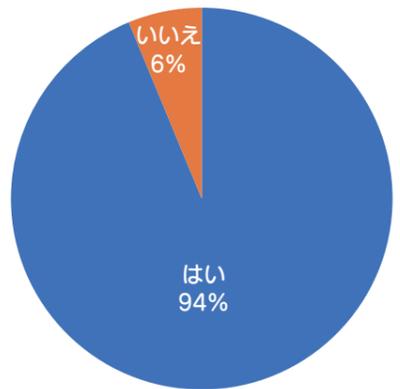
議会報告会の情報入手先(複数回答)



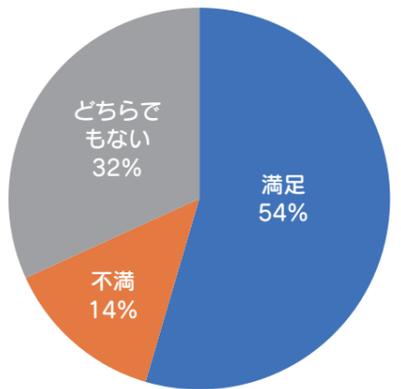
議会活動の情報入手先(複数回答)



議会だよりを読んでいるか



議会報告会感想



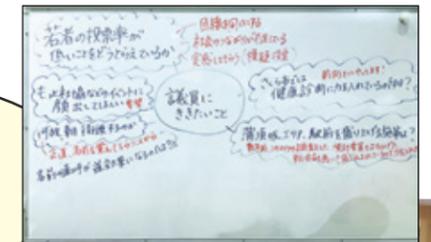
2 若者の政治参加について。

テーマ 市議会議員選挙の投票率を見て。



議員がみんな年配である、投票する年代とギャップがある、若者のために何をしてくれるのか、若い候補者がいても良い。

議会のことを良く知らない。夜勤明けでの街頭演説はやめて欲しい。演説の内容が難しいのでわかりやすい内容にして欲しい。



テーマ 投票率が下がっている理由、投票率を上げるには。



人の動く導線上に投票所を置く、インターネットの活用、投票。

誰を選んでよいのかわからない。どうすれば高校生の心に響くか考える必要がある。

若者の主権者意識が薄い、投票に行くのが怖い。



ありがとうございました。

◆フリートーク(アンケート含む)

- ・社会福祉協議会、生涯学習課のイベントに議員はもっと積極的に参加して欲しい。
 - ・氏家駅東口に小規模スーパー、コンビニ等を誘致、設置して欲しい。
 - ・草川用水の除草をお願いしたい。
- など…

当日いただきました要望について、市長・選挙管理委員会委員長に報告しました。



先進地に学ぶ

議会運営委員会

研修内容 令和元年7月1日～7月3日

詳細は
こちら→



○政策立案・提言

【石川県加賀市】

平成23年に議会基本条例を策定し、議会改革を進め議会活性化特別委員会において全議員が取り組み、意見聴取結果を踏まえ条例の目的が達成されているか検証しています。政策立案・提言などは各常任委員会と提言内容について協議し「乾杯条例」「災害対策基本条例」「いじめから子供を守る条例」「一次産業の振興に関する提言書」等を制定・提言しています。

また、子ども議会、女性議会、高校生、大学との連携で日本一の議会を目指して活動しています。



○^{きぜん}毅然とした議会運営



【滋賀県彦根市】

平成26年に議会基本条例を策定し年1回以上検討を加え、改定しています。

また、視察対応プロジェクトチームや災害時の対応要領などマニュアルを策定しました。

平成31年第1回定例会で、一般会計当初予算が否決され全国的に話題となりました。

予算において枠配分方式が採用され、大型事業に配分し市民に直接影響のある87事業が減額され一般会計当初予算の否決となりました。しかし市民生活への支障を考慮し臨時会で暫定予算を可決しています。

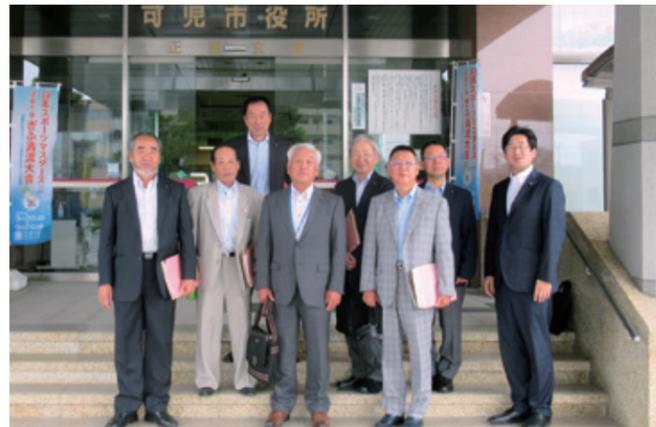
彦根市議会の毅然とした議会運営を痛感しました。

○4つの政策サイクル

【岐阜県可児市】

議会改革の取り組みとして、4つの政策サイクルを設定。①議会運営サイクル②予算決算審査サイクル③意見聴取・反映サイクル④若い世代との交流サイクルと連動し活動を展開しています。

政策立案・提言は、市民からの意見などの調査研究、自由討議を行い、附帯意見や提言の内容を決定しています。可児市議会の基本姿勢として丁寧な議会審議による熟議型議会を目指しています。



先進地に学ぶ

議会広報委員会

研修内容 令和元年6月24日～25日

詳細は
こちら→



○目指せ！全国制覇

【宮城県川崎町】

編集会議は定例会終了後から発行まで議員が主体で5回行い、事務局は連絡・調整のみ行っています。また町民に「議会広報コラボレーター」を委嘱し、コラボレーターが撮影してきた写真を委員の皆様で議論し写真を決定しています。「町民の皆さんに見ていただける広報紙を！」「目指せ！全国制覇」を合言葉に8人の編集委員が編集作業を行っています。



○近隣2市2町のイベント情報掲載



【山形県中山町】

紙面の構成はさくら市議会だよりに似ていて、親しみのある紙面となっています。近隣自治体との取り決めで近隣2市2町のイベント情報といった、他の市町にはない記事を掲載しています。また歴史が浅いこともあり、紙面で定型化、固定化されている部分は少なく、読者である町民にどう伝えるか毎回議論しながら編集を行っています。

○町民を巻き込んでの紙面づくり

【山形県川西町】

紙面づくりにおいて、町内7地区8名（市内小松地区のみ2名）に「広報モニター」を依頼しています。また、写真の愛好者に「写真アドバイザー」を依頼し、写真についてアドバイスを受けています。教員経験者には「文章アドバイザー」を依頼し、文章の使い方、表現の仕方についてアドバイスを受けています。さらに「広報懇談会」を、議会だよりの発行及び広聴等を円滑に行うため議員全員で実施するなど、町民を巻き込んでの紙面づくりが行われています。



先進地に学ぶ(議会運営委員会)

先進地に学ぶ(議会広報委員会)

どうなったんべ あの質問は



議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

瀧澤家住宅について

平成30年第4回定例会
平成29年第1回定例会
平成28年第2回定例会

以前は…

栃木県文化財に指定されている瀧澤家住宅は、平成26年に土地をさくら市が購入し建物は瀧澤氏より寄付を受けました。利活用については、平成26、27年の開館が年間30日程度、平成28、29年が年間140日程度にとどまっていた。開館日数が限られていたことから「いつも閉まっている」「もっと活用すべき」といった意見が多数あり、議会一般質問等でも指摘がありました。

現状は…

10月14日(月)から本オープンしました。本オープン後は開館日数も増加し管理人も常駐、イベントを開催していなくても開館時間内には自由に館内を見ることができます。

今後はさくら市の歴史や文化を伝え発信する講演、講座やワークショップ、瀧澤家から出発する街歩きなどを実施し、そのほか学校教育や生涯学習、観光面での活用、市民の皆様にもイベントや文化活動でご利用いただきながら貴重な文化財の保護と継承に努めていきます。

瀧澤家住宅 利用ご案内

開館時間	午前9時より午後3時30分まで
観覧料 (1名分)	一般100円 団体60円(20人以上) (幼児、児童、生徒、学生は無料)
休館日	毎週月曜日、毎月第3火曜日 年末年始(12月29日~1月3日) なお、休館日が祝日の場合は公開し、翌日が休館となります。

貸し出しスペース利用料

使用料(1日単位)	市内の方	市外の方
和室1(8畳間)	500円	750円
和室2(6畳間)	500円	750円
屋外イベントスペース (約100㎡)	1,000円	1,500円



Road to renewal 議会だよりリニューアルの歩み

* プロセス *

- 1 「見やすさの見直し」
・横書き
・色使い、レイアウト、文字の太さ
- 2 「手に取ってもらえる表紙の見直し」
- 3 「議会をもっと身近に感じてもらうような内容の見直し」
- 4 「リニューアルの方向性決定」

前号で手にとってもらえる表紙のアンケート結果を分析し、「いきいきとした子どもたちや、四季の花々は思わず手に取りたくなる」ことが分かったことから、今号ではその2つのテーマに沿った表紙を採用しています。



第一印象で目を引くタイトルをつけることで、より興味・関心を持ってもらえるよう努めています。

タイトルに工夫を!



(P2より)



(P21より)

ルール制限を厳格に!



より簡潔になるよう文字数制限を厳しくし、写真の枚数、大きさなども統一しました。

より届けたい情報を!

より市民の皆様が知らない情報などをお届けするよう努めています。





市民の声

このまち！ だいすき人間

手塚 美知子 (喜連川中央)



さくら市議会だより愛読者のみなさまこんにちは。
私は、このまちで生まれ、このまちで育ち、このまちで44年間働き、退職後も大好きなこのまちで暮らしています。



今は、一番大切にしている健康な体づくりと家族愛に感謝しつつ、自分の好きなことや趣味などを楽しみながら、地域の人たちと「子どもの居場所づくり」「地域のサロン」「ボランティア活動」など、多種多様な楽しみ方を見つけ活動しています。この活動をする中で、いつも大切にしていることは、自分一人では到底できないことを一緒に協力してくれる老若男女、大勢の仲間がいることを忘れないこと。その一人ひとりの気持ちを大切に思い取り組んできた11年間は私にとって貴重な財産。その皆さんたちも、人間愛が色濃く穏やかで住みよいこのまちが大好きだよね、仲良くいつまでも住みたいよね、と支えあいながら生活したいと思っている人たちばかりです。

これからの人生。もっともっと楽しく元気に過ごしたいと思っています。

お知らせ

次回 12月定例会予定
11月29日(金)～
12月16日(月)
◎正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定いたします。

- **議員年金について**
平成23年6月1日をもって廃止されました。
- **政務活動費について**
さくら市議会では支給されておりません。

《表紙写真撮影》
渡辺 大地さん
(市内在住)
撮影場所：氏家ゆうゆうパーク

結婚祝※1 	地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入 	お祭りへの寄附・差入
町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入 	みんなで徹底しよう 三ない運動 贈らない！ 求めない！ 受け取らない！ これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。	落成式・開店祝等の花輪
病氣見舞 	入学祝・卒業祝 	お歳暮・お年賀
葬儀の花輪・供花 	香典※2 	

※1 政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。
※2 議員の初盆での御香典や寄付は、公職選挙法により禁じられています。

